

第7回 全国高校生
手話パフォーマンス甲子園

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
日本財団 本館5階



実績報告書

手話パフォーマンス甲子園
実行委員会



Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION



目次

・開催概要	03
・大会スケジュール	04
・開会式	06
・コロナに打ち克つメッセージ	11
・カウントダウン	12
・出演者紹介/早瀬さんからのメッセージ	13
・表彰結果	14
・表彰内容	16
・チーム演技	17
・地元高校生による郷土芸能	24
・大会公式応援ソング	25
・バリアフリー対策	26
・新型コロナウイルス感染症対策	27
・閉会式	28
・予選審査会	30
・広報	32
・本大会審査実施要領	34
・手話パフォーマンス甲子園実行委員会	35



記載されたQRコードを読み取ると「手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル」で動画を視聴することができます。





開催概要

本大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、Web開催とし、ライブ配信を行いました。

● 目的

ろう者とろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を”手話の聖地”鳥取県で開催する。

● 日時

令和2年9月27日(日) 9:30～14:30

● 会場

倉吉未来中心 大ホール
(鳥取県倉吉市駄経寺町212番地5)

● 開催方法

Web開催

- ・会場の様子や、YouTubeでライブ配信を行いました。(配信は、音声ガイドありなしの2種類を用意しました。)
- ・挨拶、演技は、事前に収録した映像を上映、配信しました。
- ・会場への来場は、県内の出場チーム及び関係団体のみとし、県外の出場チームについては、会場には来場せず、テレビ会議システムを使つての参加としました。

● 視聴回数

計9,091回
(音声ガイドなし 6,694回 音声ガイドあり 2,397回)

● 主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

● 共催

鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

● 特別協力

一般財団法人全日本ろうあ連盟

● 特別協賛

日本財団

● 出場チーム

15チーム(16校)

※令和2年6月1日(月)から7月17日(金)まで参加チームを募集したところ、19都府県から34チーム(35校)の参加申込みがありました。審査員4名がビデオ視聴による審査を行った後、8月13日(木)に予選審査結果についての審議を行い、地方ブロック枠6チーム、得点順枠8チーム、初出場枠1チームの計15チームを選出しました。

● おことば

住子内親王殿下から映像でおことばを賜りました。

● 高校生による大会づくり

演技司会、大会PRなどに地元高校生が携わり大会を盛り上げました。





大会スケジュール

時刻	内容	
9:30～	<p>開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催者あいさつ ・おことば ・特別協力団体あいさつ ・特別協賛団体あいさつ ・出場チーム紹介 ・選手宣誓 <p>コロナに打ち克つメッセージ 出場チームによるカウントダウン 審査員紹介 審査方法紹介</p>	 
10:00～	<p>出場チームによるパフォーマンス(前半8チーム)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大分東明高等学校(大分県) 2 鳥取城北高等学校(鳥取県) 3 身延山高等学校(山梨県) 4 クラーク記念国際高等学校 東京キャンパス(東京都) 5 クラーク記念国際高等学校 大阪梅田キャンパス(大阪府) 6 大泉桜高等学校(東京都) 7 聖心学園中等教育学校(奈良県) 8 青森山田高等学校(青森県) 	 
11:40～	休憩	



時刻	内容
12:40～	<p>出場チームによるパフォーマンス(後半7チーム)</p> <p>9 熊本舞学校(熊本県)</p> <p>10 明誠学院高等学校(岡山県)</p> <p>11 田鶴浜高等学校(石川県)</p> <p>12 真和志高等学校(沖縄県)</p> <p>13 奈良県立ろう学校(奈良県)</p> <p>14 米子東高等学校(鳥取県)</p> <p>15 済美高等学校・松山舞学校(愛媛県)</p>
14:00～	<p>地元高校生による郷土芸能「倉農太鼓」</p>
14:10～	<p>審査発表／表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県聴覚障害者協会賞 ・日本財団賞 ・全日本ろうあ連盟賞 ・審査員特別賞 ・第3位 ・準優勝 ・優勝 ・手話パフォーマンス奨励賞 <p>審査員長講話 閉会あいさつ エンディング</p>
14:30	閉会





かい かい しき 開会式

しゅごいしゅ

主催者あいさつ

手話パフォーマンス甲子園実行委員会 会長 鳥取県知事

ひらい しんじ

平井 伸治



皆さん、おはようございます。

本日、佳子内親王殿下のおことばをいただき、日本財団、全日本ろうあ連盟など数多くの方々のご後援をいただきまして、開催することが叶いました。心から御礼を申し上げます。

そして、全国各地からご参加をいただきました、各校の皆さま、頑張ってください。

厳しい予選を勝ち抜いて、今日、この舞台に立つこととなりました。皆さまの力が新型コロナウイルスと戦って打ち克つ、そういう力に変わると思います。

皆さんもご存知と思いますが、鳥取県出身、米子で生まれました2人の方、今、「鬨男」というグループで活躍しています。その歌があります。

「宿命ってやつを想やして、暮れだすだけなんだ。」

皆さんの方で、新型コロナウイルスもイテコロナ。

ありがとうございました。頑張ってください。応援しています。





ワコ さいしんのうでんが

● 佳子内親王殿下おことば

本日、「第7回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が開催されますことを、大変嬉しく思います。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、全国各地の参加者と鳥取県倉吉の会場の参加者がインターネットを通じて、ともに集うことが出来ました。さまざまな工夫を凝らし、新しい形の手話パフォーマンス甲子園に向けて尽力された皆さまに、深く敬意を表します。

鳥取県では平成25年に全国で初めて手話言語条例が制定されました。手話の普及に向けた取組も活発に行われています。また、「あいサポート運動」というさまざまな障がい者を正しく理解し、必要な配慮をするための活動なども行われています。このような活動は全国のいろいろな地域で行われています。各種の取組をされている皆さまに心から敬意を表します。

今大会にも全国から多くの応募があり、その中から15チームが厳しい予選を通過しました。本戦出場を決められた皆さま、おめでとうございます。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年までのような練習は難しかったことでしょう。そのような中でも、たくさん話し合って知恵を絞り、お互いに助け合いながら練習をされたのではないのでしょうか。それぞれの舞台を作り上げるまでには、嬉しいことも大変なこともあったかと思います。皆さまのあふれる思いと、熱意のこもった舞台は、きっとたくさんの方の心に届くことでしょう。

私もこれから発表されるパフォーマンスの動画を鑑賞することを楽しみにしております。皆さまの努力の成果が十分に発揮されていることと思います。



結びに、大切な言語である手話と、聴覚障がいに対する理解が、より一層深まりますことを、そして、障がいのある人もない人も、私たちみんながお互いを尊重し、支え合う社会が実現していきますことを願います。

困難を乗り越えて開催される今年の大会が、皆さまにとって素敵な思い出になるとともに、本大会の素晴らしい舞台が、インターネットを通じて多くの人に楽しまれますことを願い、開会式に寄せる言葉と致します。



かい かい しき
開会式



とくべつきょうりやくだんたい
● **特別協力団体あいさつ**

一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事長

いしのふじおさむ
石野 富志三郎



「第7回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が、関係者の皆さまのご尽力により開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。Web開催にあたり、住子内親王殿下もご挨拶をお寄せくださいました。お心遣いに感謝申し上げます。

高校生の皆さまは、今、画面の前で緊張しながら、この動画を見ていらっしゃるのではないのでしょうか。今年は、高校が休校になることで、集まる機会を作ることが難しかったり、練習をする時間を充分に取れなかったりなど、大変なことをたくさん経験されたと思います。そのような状況を乗り越え、この大会に出場したいという強い思いを持ち続けた皆さまに、心から敬意を表したいと思います。

世界中が大変な状況に置かれている今、私たちろう者も、生活の中でさまざまな問題に直面することになりました。ニュースなどで、コロナウイルスの情報が刻々と更新されていく中で、自分の住む地域はどうなっているのか、リアルタイムで情報を得たくても、当初、手話言語で情報保障がされているものは本当にわずかでした。

また、テレワークやオンライン授業の導入により、自宅で学習や仕事を行う機会も増えました。このような環境で、情報保障がないと、オンラインの向こう側でどのよう

なことが話されているか理解できないという課題も改めて浮き彫りになりました。

ろう者が、自分と大切な人の命を守り、日々の生活を豊かに送るためには、手話言語や文字で情報を得ることが必要不可欠です。私たちは仲間と力を合わせ、それぞれの場所で、必要な配慮が受けられるよう要望を重ねてきました。

その結果、全国の知事会見に手話通訳がつくようになり、テレビ放送や動画においても、字幕の付与されたものを目にする機会が増えました。

生活するうえで必要なことを社会に訴え、ひとつひとつ変えていくことは大変なことですが、わずかずつでも歩を進めていくことの大切さを改めて感じる機会にもなっていると思います。

今日、皆さまの活気あふれる発表を見られることを楽しみにしています。

この社会情勢の中、高校生たちのために、本大会を開催するにあたりご尽力いただきました鳥取県をはじめ、実行委員会、関係者の皆さまにお礼を申し上げ、私のご挨拶と致します。



とくべつめいごふんどうんたい

特別協賛団体あいさつ

日本財団 理事長 **尾形 武寿**



皆さんこんにちは。私は日本財団の尾形です。

第7回目の手話パフォーマンス甲子園大会の開催おめでとうございます。

今年は新型コロナウイルスの感染防止の為、リモートによる大会となりました。皆さんと直接お会いできないのは大変残念ですが、皆さんの演技を見られることを大変楽しみにしています。

今年は新しく4校が決着に進んだと聞いております。この大会がもっともっと全国に広がり、参加校が更に増えて手話に対する理解が深まる事を期待しております。

聴覚障がい者は、コミュニケーションの手段が発達すれば、健常者と変わらない能力を出す事ができます。その為には手話を更に広める必要があります。皆さんの活動は、大変大きな役割を持っているのです。日頃の研鑽を余す事無く、元気に頑張ってください。そして、一日中思い切り楽しんでください。

皆さんの健闘を祈ります。頑張れ、高校生。





かい かい しき 開会式

せんしゅ せんせい 選手宣誓

とが かし あり
鳥取城北高等学校(鳥取県) 高橋 明里



宣誓

私たち34チームは、手話への想いを燃やし続け、学びを止めることなく、この、「第7回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」に挑戦しました。

私たちはこの夏、全国の多くの高校生が、自分の信じた道で、一生懸命頑張る姿を見ました。目標を見失いかけた時も、同じ志を持つ仲間と一緒に、夢に立ち向かい、今を全力で輝かせました。

私たちはここ鳥取から、手話言語条例の理念に則り、さらなる手話のひろがりを目指し、私たちの持てる表現力をじゅうぶん発揮し、ひとりひとりが輝きます。

大会実施にご尽力して下さった皆さま、そして、私たちがこうして元気でいられるすべてのつながりに感謝しながら、全力でパフォーマンスすることを誓います。

令和2年9月27日

選手代表 鳥取城北高等学校 高橋明里





コロナに打ち克つメッセージ

予選参加した鳥取県内チームの高校生などが出演した映像で「コロナに打ち克つメッセージ」を発信しました。



新型コロナウイルスで



辛い想いをしている仲間がいる 想い描いたような 学校生活もできない



でも、私たちは負けない。私たちの夢を 心をひとつに



共に乗り越えよう 手話パフォーマンスで 全国の人に勇気と笑顔を

出演者

予選参加した鳥取県内チーム

・岩美高等学校・鳥取城北高等学校・湯梨浜学園高等学校・米子東高等学校・境港総合技術高等学校

演技司会者

・志摩 あおいさん(倉吉東高等学校)



カウントダウン

出場チームによるカウントダウンで演技がスタートしました。





出演者紹介

演技司会者



志摩あおいさん
倉吉東高等学校2年。放送部所属。一生懸命練習した手話で演技司会に挑戦し、出場チームとともに大会を盛り上げました。

総司会者



原田 裕和さん
NHK鳥取放送局
チーフアナウンサー。

審査員



庄崎 隆志さん
演出家・俳優
審査員



小中 栄一さん
一般財団法人 全日本ろうあ連盟副理事長



KAZUKIさん
サインパフォーマー



門 秀彦さん
絵かき



高井 恵美さん
劇団あしたの会



川井田 祥子さん
鳥取大学
地域学部 教授

早瀬 憲太郎さんからのメッセージ

第1回から第6回大会まで、演技司会を務めた早瀬 憲太郎さんから映像でのメッセージを上映しました。

早瀬憲太郎です。第1回全国高校生手話パフォーマンス甲子園から演技司会を務めさせていただきました。今年も皆さんにお会いできるのを、とても楽しみにしていました。

実は、皆さんにお礼を伝えなかったのです。今までずっと皆さんの素晴らしい手話パフォーマンスを間近に見てきてそれが大きな励みとなりました。私にとっての手話パフォーマンスをと考え映画を作りました。ありがとうございました。

手話パフォーマンスをする上で、大切なことは何でしょうか？作品の内容やその完成度ももちろん大切です。何より大切なことは、観ていただく人たちに伝えることができる喜び、そして相手に伝わることができたときの喜びです。

これは、皆さんが今後、社会に出て活躍していく中でも大切なことです。この手話パフォーマンス甲子園に出場し、伝えあえることの素晴らしさを経験できたことは大きな財産になります。



予選の皆さんの作品を見させていただきましたが、皆さんの熱い思いがあふれる素晴らしいものでした。

今、この社会は心身ともに疲れてしまっています。ですが、この甲子園での皆さんの作品は、きっと心と身体を元気にしてくれると思います。私も皆さんを見習って、映画で多くの人道を元気にしていきたいです。一緒に頑張りましょう。

いつかどこかで皆さんに出会った時に、手話で伝えあえる日がくることを心から楽しみにしています！また会う日まで！お元気で！



表彰結果

ゆうしょう

優勝

奈良県立ろう学校(奈良県)

- 演技タイトル / 「I-KI-RU
—いのちをつなぐ希望のループ—
『銀河鉄道の夜』から」
- 演技内容 / 演劇
- 審査得点 / 270点
- 演技順 / 13



ひんゆうしょう

準優勝

熊本聾学校(熊本県)

- 演技タイトル / 「こわいものな—んだ」
- 演技内容 / コント
- 審査得点 / 268点
- 演技順 / 9



第3位

真和志高等学校(沖縄県)

- 演技タイトル / 「燃えるマブイ(よみがえる魂)」
- 演技内容 / ダンス・演劇
- 審査得点 / 267点
- 演技順 / 12





しん ぞ いん ぞく べつしよ

●審査員特別賞

聖心学園中等教育学校(奈良県)

- 演技タイトル / 「Love～愛する人に伝えたい～」
- 演技内容 / ダンス
- 演技順 / 7



ぜん に ぜん ぜん ぜん いしよ

●全日本ろうあ連盟賞

済美高等学校・松山簗学校(愛媛県)

- 演技タイトル / 「ノンデミック～緊急事態宣言から生まれた New Life～」
- 演技内容 / 歌唱・演劇・漫才
- 演技順 / 15



にっ ぽん ざい だん しよ

●日本財団賞

クラーク記念国際高等学校 東京キャンパス(東京都)

- 演技タイトル / 「お互い手を取り合って、明るく元気な未来を
～はじめの一歩は私たちがつくる♪～」
- 演技内容 / ダンス
- 演技順 / 4



とつ どり けん せき かく しよ がい しやきよ かい しよ

●鳥取県聴覚障害者協会賞

身延山高等学校(山梨県)

- 演技タイトル / 「笑いは最高の薬じゃ～大好き一休さんと志村けんさん～」
- 演技内容 / ダンス・演劇
- 演技順 / 3



しよ び しよ せい しよ

●手話パフォーマンス奨励賞

前記以外の本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与しました。



表彰内容

賞状



優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞

優勝旗



盾



優勝



準優勝



第3位



手話パフォーマンス
奨励賞

優勝(優勝のレプリカとして)、準優勝、第3位、手話パフォーマンス奨励賞

メダル



優勝、準優勝、第3位の選手全員に授与(素材は鳥取砂丘の砂)

副賞

優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞受賞チームそれぞれに副賞が贈られました。



チーム演技

01 大分東明高等学校 (大分県)

初出場

■演技タイトル/
ウイズコロナ

■演技内容/歌唱・落語 ■メンバー人数/7人

▼動画はこちら



02 鳥取城北高等学校 (鳥取県)

5回目

■演技タイトル/
私の高校生活

■演技内容/スピーチ通訳 ■メンバー人数/3人

▼動画はこちら



